
人と人、街と人をつなぐ鏡

mirror-E

のご提案

美容室を、昔みたいな「情報交差点」にしたい。

わたしたちの子どもころ。「美容室」や「床屋」は、街の「情報交差点」でした。
ご近所のうわさ話から、礼儀・作法、耳寄りな話など、「街のことならなんでもわかる」。
それが「美容室」や「床屋」でした。
時が流れ、おしゃれになったり、機能的になったりして変化してきた「美容室」や「床屋」ですが、
いつのまにか、昔のような「あったかいコミュニケーション」は失われてしまったような気がします。
もう一度、あのころの「美容室」や「床屋」の昨日をよみがえらせたい。
そんな思いから生まれたのが…

人と人、街と人をつなぐ鏡

mirror-E です。

まず、地方在住の美容師に話を聞きました。

美容室で使われるためには、まず、そこで働いている美容師さんに愛されなければなりません。
そこでまず、美容師さんにうかがってみました。

Q：美容室で働いていて、困ること、もっとこうしたいことってありますか？

お客さまの
ご希望を
しっかり把握したい。

ときどき
話題が途切れる
と気まずい。

小さい子は
じっとしてられない
のが困る。

こうした美容師の要望、情報を提供することで解決するのでは？

情報提供することが、美容師を助ける。

美容師の要望

お客さまの
ご希望を
しっかり把握したい。

ときどき
話題が途切れる
と気まずい。

小さい子は
じっとしてられない
のが困る。

情報の提供

前回のヘアカットの
履歴や、流行の
ヘアスタイル画像

過去数カ月のカット履歴を見ながら
ヒアリングやコンサルティング。

地元発信の
最新情報・広告

新しくできたお店や
地元のイベント情報などの話題。

お子さま向け
コンテンツ

動画、アニメ、ゲーム的要素があれば
小さなお子さまもじっとしてられます。

それは… **鏡 = mirror !**

30分から1時間。それだけ長時間お客さまに見つめられるサインージは、そうありません。

人と人、街と人をつなぐ鏡

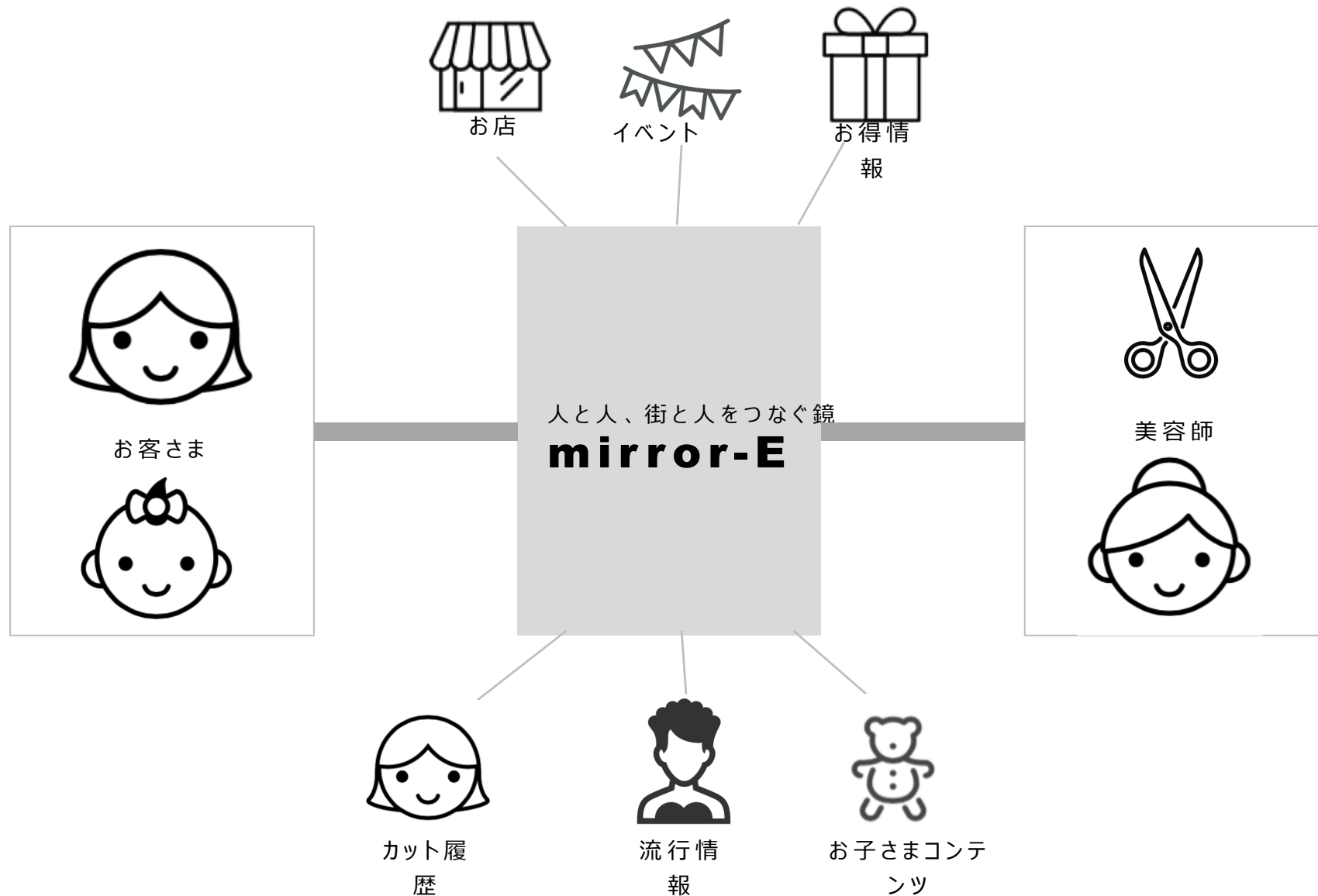
mirror-E は、鏡を情報デバイスとして活用することで、美容師の課題を解決します。

人と人、街と人をつなぐ鏡

mirror-E

スマートミラーは、すでに多く発表されていますが、
できるだけシンプルにすることで、
直感的にわかりやすく、だれでも使えることを
目指しました。

mirror-Eは、情報を通じて、お客さまと美容師、お客さまと街、お客さまと人をつなぎます。



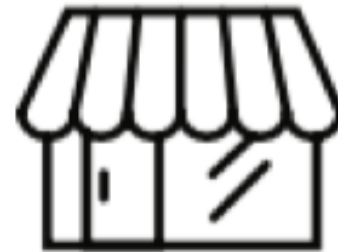
鏡はつい見てしまうから。

街の効果的な広告媒体として、mirror-Eの使い道は広がります。



公共交通機関の 洗面台の鏡

駅や列車の洗面台で、
街のイベント、
地元の人しか知らないお店などの
情報提供



お店の ウィンドー

お店に入らないとわからない
料理のこと、おすすめ商品の情報が
外から見れる

美容室の営業に貢献できるツールを創る： デザイン方針

美容室という業務の性質およびデバイス特性を考慮しながら、各種UI/UX原則を参考に、デザインに対する基本的な考え方をまとめます。(ショートカットに関しては導入後一定期間を経たのちに必要があれば改修するイメージです)

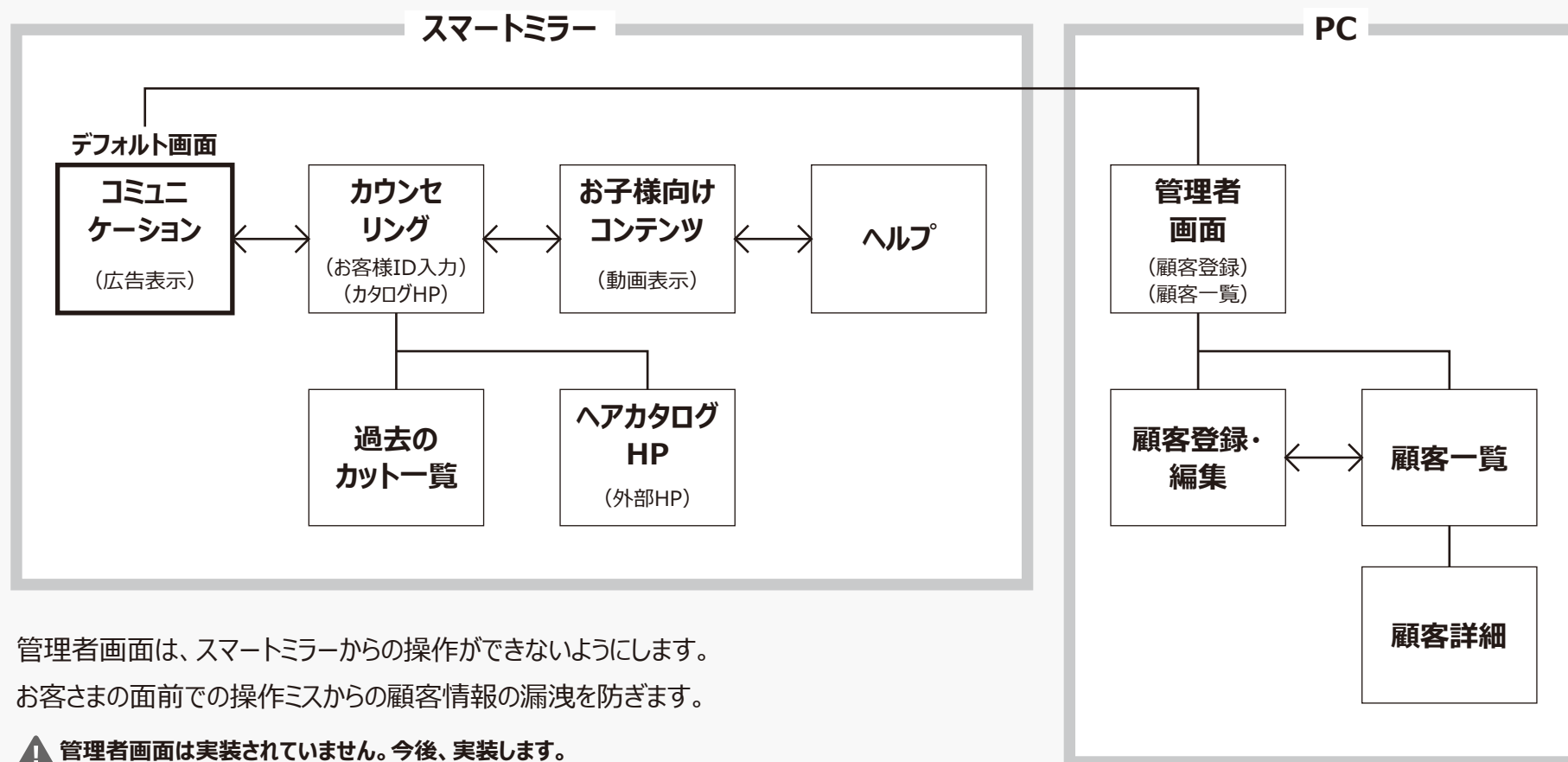
コンセプトの例

参考：『ユーザビリティ言論』（ヤコブ・ニールセン）

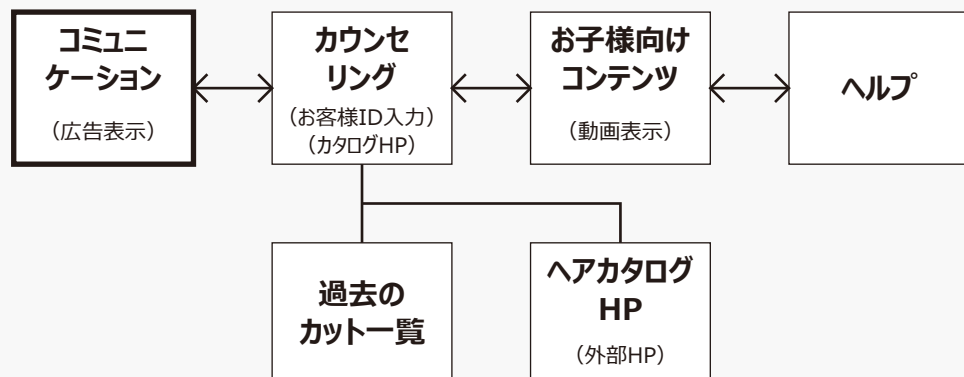
<div>シンプルで 自然な対話</div> <div>UIはできるだけシンプルにし、ユーザーの作業と自然に対応させる。</div>	<div>ユーザーの 言葉で</div> <div>UI上の用語は普段ユーザーが使っている言葉を用いてわかりやすくする。</div>	<div>記憶負荷を 最小限に</div> <div>ユーザーが使い方をすべて記憶していなくても業務が行えるようにする。</div>	<div>一貫性</div> <div>同じ性質のものは同じ表現に、違う性質のものは違う表現にする。</div>	<div>フィードバック</div> <div>ユーザーの操作に対して即座に結果を示し、何が起きているのかわかるようにする。</div>
<div>出口を 明らかに</div> <div>いつでもユーザーが作業を中断したりやり直したりできるようにする。</div>	<div>適切な エラーメッセージ</div> <div>エラーが起きた際は、状況、原因、解決方法をわかりやすく示す。</div>	<div>エラーを 防ぐ</div> <div>入力補助、選択式操作、自然な制約などを用いて、エラーが起きにくくする。</div>	<div>適切なヘルプ</div> <div>ユーザーの目的達成と学習を助けるヘルプシステムをUIに組み込む。</div>	<div>ショートカット</div> <div>経験のあるユーザーが業務をより効率化できるよう、ショートカットを用意する。</div>

画面一覧

スマートミラーというデバイスの特性も考慮して、アクセスしたらすぐに使えるようにスプラッシュ画面などは実装していません。
お客さまの面前でアクセスすること考え、個人情報に近い「カウンセリング画面」はデフォルト画面とせず、
「コミュニケーション画面」をデフォルトとします。



スマートミラー画面①



画面の基本構造として、ユーザーの操作の迷いなくなるよう、
同じ操作で画面移動できるようにしています。
メニューボタンを押して画面移動ができます。

！ ヘルプ画面は、実装されていません。今後、実装します。

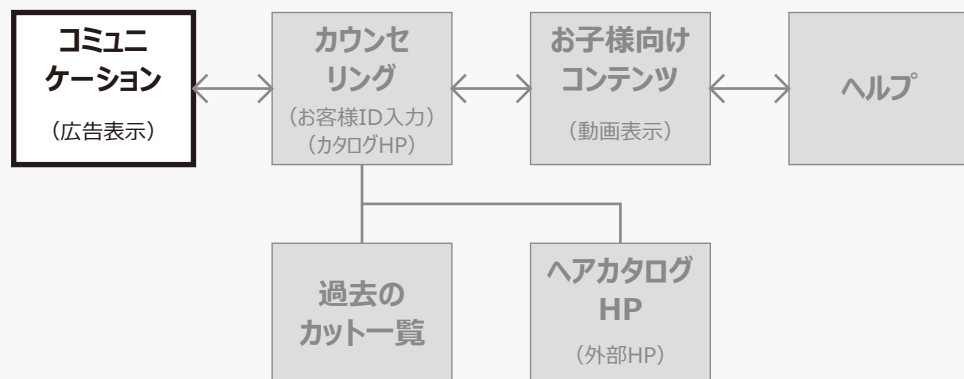
メニューボタンを押すと…



メニューが展開します。



スマートミラー画面②



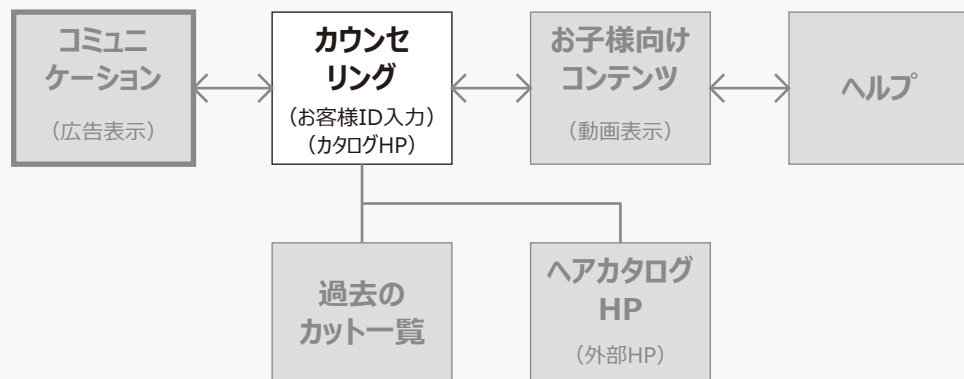
コミュニケーション画面

広告がスライドして、表示されます（カルーセル広告）。
また、マウスドラッグ（スワイプ）で先に送る、戻すの操作も可能です。



広告は最大10個まで閲覧できます。
(現在5個の広告を表示しています)

スマートミラー画面③



カウンセリング画面

お客さまIDを入力して、ヘアカットの履歴が確認できます。

また、ヘアカタログの外部サイトを表示できます。

(ヘアカタログHPは掲載許可の確認中です)

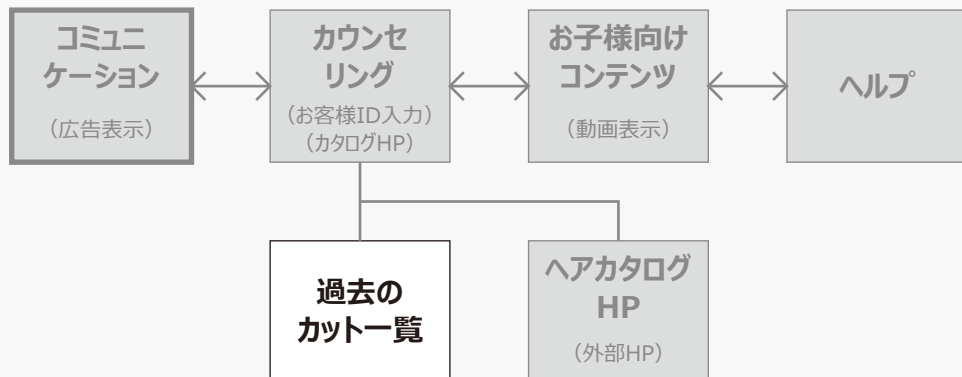
The mockup shows the Counseling Screen interface on a dark background. At the top left is a hamburger menu icon. The main content area contains two primary elements: a search input field and a link button. The search input field is labeled 'お客さまIDを入力してください' and includes a '検索' (Search) button. Below it is a button labeled 'ヘアカタログ (外部リンク)'. Both elements are highlighted with white rectangular boxes and connected by lines to explanatory text on the right.

お客さまIDを入力することで
過去のヘアカットの履歴が確認できます。

(現在、機能は備えていません。
検索ボタンで画面遷移します。)

ヘアカタログを確認できます。

スマートミラー画面④



過去のカット一覧画面

過去3回分のヘアカット履歴が確認できます。

写真はスマホで撮影しサーバに転送します。

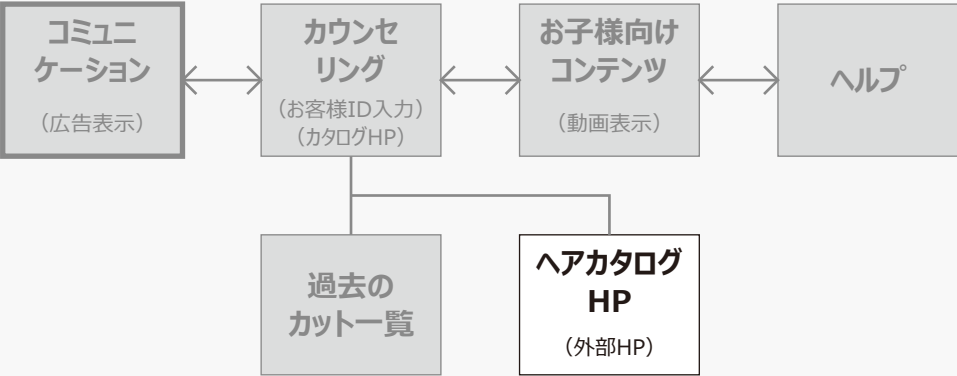
⚠ 撮影した写真の転送は、実装されていません。今後、実装します。



過去3回分のヘアカット履歴が
確認できます。

1回につき最大3枚まで表示します。

スマートミラー画面⑤



ヘアカタログHP画面

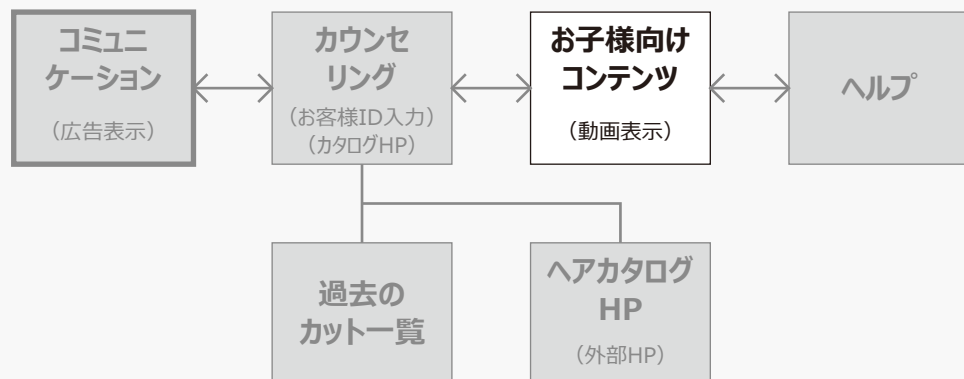
外部のヘアカタログのホームページを確認できます。

⚠️ ヘアカタログHPは掲載許可の確認中です。



外部のヘアカタログHPを表示します。

スマートミラー画面⑥



お子様向けコンテンツ画面

gifアニメーションを閲覧できます。

⚠ 将来的には、閲覧できるコンテンツを増やしていく予定です。



gifアニメーションを表示します。